

男女共同参画社会の実現をめざして

男女共同参画週間 6月23日(月)～29日(日)
わかちあう仕事も家庭も喜びも



身近なところから はじめましょう

男性の子育てへの参加は、「男性は仕事、女性は家庭」「男性は主要な業務、女性は補助的業務」という固定的役割分担などの考え方が強い日本社会の現状を変革する第一歩です。

女性の自己実現や自立のための社会進出も重要と考えられることから、男性も女性も働きながら子どもを育てることが可能な社会環境が必要不可欠となります。

働きながら子どもを育てることを容易にするためには、男性も女性もワーク・ライフ・バランスを考慮し、働き方を変えていく必要があります。企業側も働き方の見直し、子育てにや

さしい企業として変ぼうする必要にせまられています。次世代育成支援対策推進法の施行によって、こうした動きが目立ってきています。

こうした流れの中で、男性も仕事に責任を負っているのと同様に、家庭で家事や育児に責任を負うことが一層求められています。男性が育児に参加することによって、母親たちがどんなに苦勞して育児をしているかを実感することができ

「育児」は「育自」とも言われ、育児をすることによって自分も成長することができず。育児への参加は、人生にかけがえのないものを与え、人間的に成長させてくれるという大きな効果を持っています。お父さん、そしてこれからお父さんになる方もぜひ子育てに参加しましょう。

夢を実現するために

男性も女性も夢や希望があります。限りある自分の人生、夢に向かつて精一杯トライしたいと考える人もいるでしょう。しかし、何かをやりたいと思っても「女だからダメ」「男だからダメ」と言われては、前に進めません。特に女性の場合、これまでそのようなことが多かったのです。男女の双方に対し、社会のあらゆる分野の活動に参

男女共同参画の実現をめざした作品展示会のお知らせ

とき 6月21日(土)～6月29日(日)
ところ 市民文化センター展示ホール

期間中、会場にアンケートを用意しています。アンケートに記入していただいた方には、抽選で50名様にすてきな記念品をご用意しております。

画する機会が与えられる、それが真の豊かな成熟した社会なのです。そのため、男性は仕事、女性は家庭、「男性は主要業務、女性は補助的業務」という固定的役割分担意識にとらわれな

いで、男女がそれぞれの個性に応じて、ともに作り上げていくという社会が必要です。

男女共同参画では、「参画」という言葉を使っていますが、それは単なる「参加」ではありません。社会のさまざまなルール、システムを作り上げていく場合に、最初から男女が一緒に考え合っているということですから、できあがってから参加するのではなく、どんなものを作るのかと「夢を描く」段階から、男女が一緒にやっていくということになります。そうして得られた成果は、男女が対等に分け合い、責任もしっかりと両方が担うということです。

個人から家庭、企業、地域、そして社会でも、さまざまな局面において、男女平等であってこそ、お互いが良い関係になれます。男女が同じスタートラインに立って、ともに尊敬の念を持ちながら支え合い、補い合い、そして、双方が個性や能力を發揮し、夢や希望を実現していくことが男女共同参画社会です。男女がともに参画し、さまざまな夢を実現していきましよう。

問い合わせ 企画課男女共同参画担当(市役所名寄庁舎3階)

☎01654 2111(内線3308・3309) E-mail ny-mwkyodo@city.nayoro.lg.jp